

資格認定委員会より

1. 認定心理士について

平成30年度第2回（通算第170回）認定心理士資格認定委員会が平成30年6月16日に開催されました。4月30日までに受け付けた786件について審査し、749件を合格、21件を保留、16件を不合格としました。また、前回までの保留等について追加資料の調った6件を再審査し、4件を合格、1件を保留、1件を不合格としました。この結果を受け6月30日時点での平成30年度の累計で、初回審査件数は1,580件、総審査数は1,597件、合格件数は1,540件、資格取得者は1,046名となりました。その結果、資格取得者は累計57,323名となりました。今後の認定委員会の開催予定日は平成30年8月4日（土）、10月13日（土）、12月15日（土）です。

2. 認定心理士（心理調査）について

同委員会で、5月30日までに受け付けた25件について審査し、20件を合格、5件を保留としました。また、前回までの保留等について追加資料の調った3件について再審査し、3件を合格としました。この結果を受け、6月30日の時点

での平成30年度の累計で、初回審査件数は55件、総審査数は58件、合格件数は49件、資格取得者は35名となりました。その結果、資格取得者は累計86名となりました。

3. 認定心理士（心理調査）制度検討ワーキング・グループの設置について

同委員会では、認定心理士（心理調査）資格の取得者数の伸び悩みを受けて、申請方法や認定基準等を見直すために、田中芳幸氏（京都橘大学）を長とし、小川一美氏（愛知淑徳大学）、佐藤俊彦氏（長野大学）、松尾浩一郎氏（福山市立大学）によるワーキング・グループを設置することになりました。

4. 認定心理士の会について

平成28年4月1日に設立された認定心理士の会は、平成30年6月30日時点で会員数は3,701名になりました。認定心理士の会運営委員会を中心に、幹事会と各支部会の役員の方のご尽力により、平成30年度には7月31日までに、「ストレスについて考える」（第3回Net De交流！ 認定心理士、4月21日）、「発達障がい者と一緒に関わるために一障がい理解のスタンダードとインクルージョンのためのヒントー」（東海支部会講

演会、6月23日、愛知淑徳大学）、「『被害者』の心理を考える！—心の傷をどのように受け止めるのか—」（関東支部会第1回セミナー、6月30日、東洋大学）、「若手アカデミーが考えるシチズンサイエンスに基づいた学術横断的社会連携」（公開シンポジウム、7月28日、日本学術会議講堂）、「笑えば幸せ—表情豊かにコミュニケーション—」（北陸支部会講演会、7月8日、福井市地域交流プラザ）、「話し合い（ダイアログ）によるチームビルディング」（第4回Net De交流！ 認定心理士、7月20日）が開催されました。今後の予定等については、日本心理学会のホームページの「認定心理士の会 イベント」をご覧ください。

5. 「シチズン・サイコロジスト奨励賞」の設置について

認定心理士有資格者で、日本心理学会の会員になり、社会において優れた活動を行い、人びとの心の健康と福祉の増進に寄与した人を、日本心理学会が顕彰する制度が設置されました。自薦他薦を問いません。詳細は、ホームページ等でご案内いたします。（資格担当常務理事・日本大学教授 岡隆）

編集後記

少し前に、札幌 法と心理学研究会に参加し始めました。それとは別に、消費者庁の「スマートフォンにおける打ち消し表示に関する実態調査報告書」に関わり、景品表示法に触れました。予てより心理学ワールドの特集を企画するという宿題がありました。これらについて雪道を歩きながら考えていて、ああこれも法と心理学ってことか、と思ったことが本号の特集のきっかけです。もう一つの法と心理学の紹介となれば幸いです。（河原純一郎）

編集委員（五十音順）

編集委員長	川口 潤	名古屋大学
副委員長	大久保街亜	専修大学
委員	漆原 宏次	北海道医療大学
	大江 朋子	帝京大学
	金井 嘉宏	東北学院大学
	河原純一郎	北海道大学
	北崎 充晃	豊橋技術科学大学
	後藤 和宏	相模女子大学
	清水 由紀	埼玉大学
	下津 咲絵	京都女子大学
	且 直子	帝京科学大学
	手塚 洋介	大阪体育大学
担当常務理事	宮 谷 真人	広島大学

心理学ワールド [83号] 2018年10月15日発行 年4回発行（1月、4月、7月、10月）

発行人—横田 正夫  
編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953  
表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—新日本印刷  
制作—(株)新曜社